

人の一生をはるかに遠くまで行くが如く、急ぐからず、可

**歲暮御進物御贈答品は日下部商店に限る**

◎高価、産物の之類  
白瓜、茄子、胡瓜、五品詰合せ  
守口大根、西瓜、奈良漬（小桶詰）  
名古庫加子辛子漬（小桶詰）五十錢より三圓まで  
名古煮わび漬（小桶詰）二十錢より四十錢まで  
大根、味噌漬（三品詰）十錢より三十錢まで  
京都茶、味付漬（小桶詰）五錢より十圓まで  
京都蕎麦、煮食（小桶詰）五十錢より一圓まで

鮭 漬（小桶詰）八十錢より一百五十錢まで  
このわた（小桶及箱敷）五十圓まで

◎瓶詰並ニ罐詰の之類  
雲丹、鰹通、花良京、玉椿、尾羽毛、  
漢海、海苔、川魚、きくらげ、味付海苔、  
浅茅、海苔漬、養老菜、鯛の花、海老  
の花

醋梅、櫻正宗（一合詰、四合詰）

太(四)

雪突の煙り太しく冬の雲  
 河崎雲に何積り荷舟冬の雲  
 木の實類々密打つ夕冬の雲

外 事 一 束

駐米 露大使米大統領に對し露皇帝  
 は米國下院の米露通商條約被棄決議案  
 通過は露國を侮辱せる者と思惟せ  
 らるゝと述べ大統領は元老院に該決議案  
 字句の修正若くは否決を要望せし  
 も兩院民主黨議員は其の修正を拒絕す  
 伊國 政府伊士戰争以來獨奧兩國の

新年和歌募集  
 勅題 松上鶴

選者 九臯館去留

一、一人にて何者にてても宜敷、用解  
 用美は御願意の事、但投詩者は  
 住所氏名御明記の事

一、締切期來る十二月二十五日  
 一、發表は四十五年一月元旦の朝  
 紙上を以てす

右は例年の通り勅題和歌募集致候  
 付同好の御方は他つて御投稿あり

三

でした。江戸から甲府迄里程にしては僅々廿六里しかないが旅馴れて居る人でも五日位ひ日間取つた者です。途中に小佛師笹子峠環と云ふ、巖崎嶇山があつて却々越すのに難儀をした者だ、夫に惡漢が出沒して危険な事が多かつ

人

峠の中程親知らず子知らずと云難所へ  
 來ると、何やら人聲が聞へる 外「ハテ

を表す

何れも縛られて立木に繋止められ、身動きもならぬ容子でござりますから、外記は之を見るより「外」扱は盗人なるに、世も太平に治り居る今日此頃、暗令通行愈増したる山中なればとて、

洲  
演

左文字の刀を引越して、  
 太平無事の今日眞査中旅客の財物をぞ  
 んとする、不届至極の盜賊原、奪取  
 たる金品を棄て、速に此場を去らば  
 し、左もなくば一人も殘らず斷て捨  
 ぞ」と大音上げて呼はつたり

景品券ヲ進呈仕べく候  
 總督府官衙御用達  
 大勉強の親玉  
 になじみの漬物屋  
 日下部商店  
 電話一一二番  
 商標印に御注意を乞ふ又日下部商店に限り五十錢毎に聯合賣出  
 但し奈良漬及び蕪干枚漬小福詰は他店に類似品澤  
 山有之候間  
 上流地方三河送付文ノ飾・代金引換小包ヲ以テ希道完全チ  
 保儲シ即刻郵送可仕候

▲大日本製糖株式會社精撰糖賣出  
 △洋菓子 △角砂糖 △珈琲糖 △冰砂糖▽  
 △滋養水飴蒺藜 △水砂糖▽  
 精撰御砂糖 樽詰各種  
 上等袋入箱詰  
 切手  
 例年通歲暮御贈答實用印各種種廉價  
 とし大勉強可仕候間多少に不御用命の程奉願上候

砂糖諸粉  
 掛菓菓子商  
 製菓原料  
 砂糖諸粉  
 掛菓菓子商  
 製菓原料  
 京城本町二丁目  
 澁谷商店  
 電話七七一番  
 振替京城四二九番

砂糖諸粉  
 掛菓菓子商  
 製菓原料  
 中村政商店  
 京城本町五丁目

100

-549-

**附錄**









[illegible]





● 恩 倦 人 非 人

突然、東京に降った大雪。人々は、この大雪に驚き、喜び、悲しむ。人々の心は、この大雪に揺れ動く。人々の心は、この大雪に揺れ動く。人々の心は、この大雪に揺れ動く。

● 京 仁 列 車 の 脱 線

二十一日午後十時、京仁線、大塚駅付近で、京仁列車が脱線した。乗客は全員無事。原因は、線路の不具合によるものと見られる。

● 春 節 初 音 の 行 先

去る十四日、金山市の夜行列車の乗客。春節の初音を、各地に響かせた。乗客たちは、新年の第一歩を、この列車で踏み出した。

● 景 氣 好 監 獄 行

監獄の風景。監獄の風景は、静寂と厳格さの象徴。ここでは、人々の心は、この静寂の中で、静かに沈んでいく。

● 新 年 畫 附 録

本紙新年附録。本紙の新年附録は、読者の心を喜ばせる。ここでは、新年の第一歩を、この附録で踏み出す。

● 火 災 有 負 歩

火災の惨状。火災の惨状は、人々の心を痛くする。ここでは、火災の惨状を、この記事で伝える。

本紙の新年附録。本紙の新年附録は、読者の心を喜ばせる。ここでは、新年の第一歩を、この附録で踏み出す。

本紙の新年附録。本紙の新年附録は、読者の心を喜ばせる。ここでは、新年の第一歩を、この附録で踏み出す。

本紙の新年附録。本紙の新年附録は、読者の心を喜ばせる。ここでは、新年の第一歩を、この附録で踏み出す。

本紙の新年附録。本紙の新年附録は、読者の心を喜ばせる。ここでは、新年の第一歩を、この附録で踏み出す。

本紙の新年附録。本紙の新年附録は、読者の心を喜ばせる。ここでは、新年の第一歩を、この附録で踏み出す。

本紙の新年附録。本紙の新年附録は、読者の心を喜ばせる。ここでは、新年の第一歩を、この附録で踏み出す。

